幼稚園の今後の在り方について

1 第3回米原市幼稚園の在り方検討委員会の協議事項

本日は、市長に対する答申の主題となる<u>「幼稚園の今後の在り方」について協議いた</u>だきます。

本日の協議で御提案いただいた意見を参考に事務局で「幼稚園の今後の在り方」の答申案を作成し、次回最終回となる第4回検討委員会で皆様に最終協議いただく予定です。

2 「幼稚園の今後の在り方」の協議事項

- ①、②について協議
- ① 幼稚園として運営を継続することについて

市民アンケート調査

- ⇒ アンケート回答者の8割以上が共働き世帯もしくは、共働きを希望する世帯
- ⇒ 就園先施設の保護者のニーズとしては、保育所、認定こども園など長時間の預かりを意識する方が多い。
- ⇒ 今後の在り方を重視する視点として「長時間の預かり」、「クラス人数・集団 規模」を重視する保護者が多い。

民間園ヒアリング調査

- ➡ 預かり保育を実施している状況からすでに「幼稚園」と呼ばれる運営形態ではない状況にある。今の在り方から違う方向性での検討が必要なのではないか。
- → 39人の少人数では、保育内容に制限もありクラス運営も難しくなるのではないか。



今回の調査を通して就学前の子どもがいる世帯のニーズとして、共働き家庭にあった施設の利用を希望している傾向が高い状況が伺えます。「幼稚園」の現状、地域の実情等を踏まえて、今後の在り方について協議をお願いします。

② 山東幼稚園の今後の運営方針について

山東幼稚園の今後の具体的な運営方針について協議

市民アンケート調査

- ⇒ 就園先施設の保護者のニーズとして、認定こども園、保育所が高く、施設を選ぶ理由として、小学校区、きょうだいの利用状況、長時間の預かりが可能かを意識する保護者が多い傾向にある。
- ⇒ 今後の在り方を検討するうえで重視する視点として「長時間の預かり」、「クラス人数・集団規模」を重視する保護者が多い傾向にある。
- ➡ 今後の在り方に関する意見
 - ・幼稚園で特色ある教育・保育を実施し、市内外に PR する。
 - ・地域の公立園として存続が必要である。幼稚園を認定こども園化させ、共働き世帯でも使える施設に変更する。
 - ・幼稚園としての役目を終え、子どもの遊び場など多目的施設として活用する。
 - ・幼稚園に予算を充てず、他の地域に予算を回して受入れ枠を増やす。
- ➡ 育児・子育てに関する意見
 - ・保育所、認定こども園長時部の預かり枠を拡大して欲しい。
 - ・育児、子育ての相談の場、交流の場が欲しい。
 - ・市内には子どもの遊び場が少ないので、子どもの遊び場を増やして欲しい。
 - ・英語教室やひらがな教室のような子どもたちが学ぶ場が欲しい。
 - ・病児保育、療育教室の充実

等

民間園ヒアリング調査

- ⇒ 地域の少子化の状況、市の財源も無尽蔵ではない状況から、幼稚園の受皿を増 やすことは適当ではないと考えられるため、教育・保育施設として継続するので はなく別の方向性として施設を活用してはどうか。

協議にあたり、お願いしたい視点

1 変更する場合いつが適当か

山東幼稚園の現利用者、地域の方々に配慮した期間となっているか。

2 方針が具体的か

市民にとってわかりやすい方針か。

3 山東地域の実情を考慮した、客観的な視点を取り入れた方針か

少子化の状況、民間園への影響など山東地域の実情にあった方針なのか。

例1 山東幼稚園で新たな受皿(預かり保育の拡大、特色ある教育・保育の実施等) の拡大

- → 山東幼稚園の利用者増に繋がり、クラスの集団規模を維持することができる可能性があります。
- ⇒ 一方で、地域自体の子どもの数は減っているので、山東幼稚園の受皿拡大により地域の他の民間園と競合が発生する可能性があります。また、今後さらに少子化が進行した場合、再び利用者の減少が見込まれることも考慮する必要があります。

例2 教育・保育施設としての役目を終え多目的施設として活用し、地域の民間園 が受皿となる。

- ⇒ 施設自体存続されるため、様々な利用方法が今後期待されるうえに、地域の少子化の進行にあった受皿を整備することができます。
- 一方で、山東幼稚園以外の地域の施設が受皿を担うことが可能か、その時期はいつ頃が適当なのかなど考慮する必要があります。

4 子どもたちにとって望ましい方針か

今いる子どもたち、これから米原で暮らす子どもたちにとって望ましい方針か

など